

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和5年1月17日

協議会名: 須崎市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
須崎市	南～須崎線	<p>市営バスの利用促進に向けては、須崎市ホームページ等での継続的な情報発信や地域公共交通計画策定のための公共交通アンケートで満足度が低かった待合空間については、極楽橋にベンチを設置した。なお、ベンチについては、十分な設置場所が確保でき、かつ土地所有者との協議が調った箇所から順次設置していく。</p> <p>市営バスの乗り方や乗降場所の周知のため、関係機関と連携して、「市営バスおためし乗車ツアー」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p>	A 運行については、適切に実施したが、「市営バスおためし乗車ツアー」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。	B <p>【乗客数】 目標達成率:89.5% 目標 :21,530 人 実績 :19,278.5人 対前年比 :99.1% 対前々年比:96.0%</p> <p>【運賃収入】 目標達成率:106.4% 目標 :4,186,000円 実績 :4,454,130円 対前年比 :102.3% 対前々年比:96.4%</p> <p>【収支率】 対前年比 :▲0.1% 対前々年比:▲3.1%</p> <p>乗客数は目標を下回ったものの、前年・前々年とほぼ横這いで同水準を維持しており、市民の移動手段として役割を果たした。今後は利用者を増やすため、さらなる周知に取り組むとともに、他の公共交通機関との接続による利便性向上を図る必要がある。</p>	<p>市営バスの利用促進に向けては、利用者が分かりやすい公共交通マップを作成し、広く周知を図るとともに、引き続き須崎市ホームページ等での継続的な情報発信やバス停へのベンチ設置等を計画的に行っていく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていない市営バスおためし乗車ツアーについては、早期実施に向けて協議中である。</p> <p>なお、JR等、他の公共交通機関への接続については、スムーズな乗り継ぎが可能となるよう関係機関等と運行時刻の協議を行う。</p>